

いっぽん!

第9号



■発行 伊藤ふみひろ後援会広報委員会 ■発行責任者 伊藤文博 ■連絡先 TEL025-562-3988
 ■公式ホームページ URL <http://www.fumihiro-ito.com> ■E-mail f-ito@fumihiro-ito.com



会派：新政会
 所属委員会：
 文教民生常任委員会
 地域情報化調査推進
 特別委員会

平成20年がスタートしました。昭和から平成に移り変わり、20年目を迎えるとは、正に「光陰矢の如し」です。

一度しかない人生、時間は決して戻すことは出来ません。一年・一日を大切に、有り合わせを尽くして参ります。

「自分の人生を大切にし、他人の人生も大切に」という基本を守ることが出来れば、いじめも犯罪もない社会を保つことが出来るのでしようが、なかなかそうはいきません。人間性も思想も様々な中で、住みよい社会をつくり上げることの難しさを感じます。

家庭教育と学校教育、社会教育が一体となって、明日の社会を担う次世代を育成する。時間は掛かりますが住みよい世の中をつくる大切な要素です。しかし、最も難しいことになってしまいました。

現代社会の歪みを地道に正していくことが必要です。

市議会議員としての教育問題への取り組みと、一社会人として剣道を通しての青少年の健全育成にも全力を尽くします。

本年もご指導の程よろしくお願いたします。

平成19年12月議会

糸魚川市議会12月定例会議が終了いたしました。12月3日から19日までの日程で、議案審査、一般質問が行われました。

◆初日と最終日の市長挨拶から

①地域医療対策について

糸魚川総合病院循環器科増設工事着工と平成20年3月竣功、4月からの富山大学から2名の医師派遣による診療開始されます。今後は「地域医療計画」(仮称)を早期に定め、長期展望に立った地域医療対策が望まれます。

病める人は勿論、健康な人にとっても医療は命の綱であり、高齢化率の高い糸魚川市では、いつでも安心して診療の受けられる基幹病院の充実と医師の確保が求められます。

昨年の姫川病院の唐突な閉院は、度重なる地震にもました激震で市民の動揺は計り知れないものでした。

幸い市当局・議会・医師会等関係者の努力によって、医療体制の充実強化と医師確保が約束され、四月より診療開始とのことで安心いたしました。おめでとうございます。

今後とも市民の健康管理を第一義として、子供に希望を、高齢者に安心を与える行政に期待いたします。

後援会長 小野誠治

②旧姫川病院の破産手続きの状況について

12月18日にリージョンプラザで開かれた第1回債権者集会で、優先的に支払われる退職金や税金など約2億円の支払に対して、確保できている資金は1億円程度であることが明らかにされました。

地域医療に対して出資した人たちが被害を受けたことに対して、糸魚川市としては直接的に援助することは出来ないそうです。私も委員会や担当課との直接やり取りで被害者救済の道を探ってきましたが、非常に難しい問題となっています。



③ 公民館制度見直しの検討状況について

1市1制度に向けて、3地域で異なっている公民館制度の見直し作業中。課題が多いため、3地域から検討委員を選出し、更に検討を重ねることになりました。

これは、20年度から新制度に移行することを念頭に説明を受けていましたが、「時間を掛けて検討するべき」とし、再検討することになりました。



新市合併より3年、いよいよ一市一公民館制度へと向けて動き出したわけですが、それぞれが違った組織方法で活動しています。しかし、これからの公民館活動に望まれているものは、今までと違うのではないかと思えます。

ポランティア的な要素の多い青海地区では、一つの方向に向けての組織変更は割とスムーズに行われそうです。が、予算削減となる地域では大変な問題と思われまます。話し合いなどして進んでいくって欲しいものです。

いつかは通らなければならぬ道です。是非議会のリーダーシップを持って早い内に解決して欲しいものです。

青海地域 50代男性

(公民館関係者)

「地域コミュニティの格となる組織を目指す方向で、市民にとって望ましい

結論を出すよう議論していきます。」

伊藤文博

④ 総合計画の実施計画について

糸魚川市総合計画は、地方自治法に基づいて定められるもので、

基本構想 ↓ 基本計画 ↓ 実施計画

で構成されています。

地方自治法で「基本構想」は議会の議決が必要です。

今回、議会の議決が不要な平成20年度から3年間の実施計画が定められました。

須沢に建設予定の「健康づくりセンター」(仮称)は、平成21年度の計画に上げられています。



区分・年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
基本構想	基本構想									
基本計画	前期基本計画				後期基本計画					
実施計画	毎年度この繰り返し				毎年度この繰り返し					

⑤ 平成20年度予算編成方針について

市長は、平成20年度の予算編成を前に、5つの重点施策を上げました。

- (1) 地域医療対策と健康づくりの推進
- (2) 安心・安全のまちづくりの推進
- (3) 地域の発展につながる産業の育成と振興
- (4) 自然資源を活かした誘客の促進と観光の振興
- (5) 主要交通ネットワークの整備促進

これを受けて、所属党派の新政会では、次の基本姿勢に基づいた「平成20年度予算編成に対する新政会要望」を市長に提出しました。

◆ 基本姿勢

合併4年目を迎え、地域医療問題及び地方自治体財政健全化法の適用を始めて、懸案事項が山積しています。

新政会は、市長の予算編成5本柱を中心とした「選択と集中」を基本に、国・県と密接な連携の下、市長・管理職のリーダーシップ発揮と一般職員の意識改革促進による迅速・適切な市政運営を要望いたします。

詳しくは1月14日に新聞折り込みされた「新政会だより」をご覧ください

新年おめでと〜ございます。

私は昨年暮頃から、非常に反省し始めたことがございます。それは政治家殿への「畏敬の念」が不足していたこととです。でもそれは皆様方も同様？

一昔前は「政治は三流、経済は一流」といって、政治家殿を揶揄したものでした。しかし、相次ぐ偽装問題で経済も三流？・・また各分野でも、日本ランクは下がるばかり。

政治が三流で他が良いなんてあるはずがないでしょう！

国民が政治を舐めてきたから、そのツケが徐々に廻ってきた。三流の人たちに全てを任せてきた我々に責任があるのです。

今こそ日本に求められるのはプロの政治家です。決して血筋ではなく、能力であるはずですよ。

糸魚川地域 60代男性 (経営者)

「厳しいご意見、ありがとうございます。心して頑張ります」…伊藤文博



⑥ 公共下水道使用料の見直しについて

下水道特別会計が、一般会計を圧迫している現状から、受益者負担の原則に基づいて、下水道使用料の見直ししたい考えを明らかにしました。

「料金体系を見直し、一般会計からの繰り出し金を6億円から3億円に圧縮したい。20%、30%、40%料金アップの3パターンで試算し、市民に対しあらゆる方法で説明、理解を求めていきたい」という市長の考えでした。

このような税外負担が市民生活を圧迫することは必定であり、市内経費の削減による歳出削減を求める市民の声が高まることは必ずでしょう。

受益者負担といっても、下水道使用料金は体育館の使用料のようなものとはわけが違います。ライフラインに関わる生活必需経費であることを前提に慎重な対応が必要です。



「ガソリン代、灯油代に続き、下水道使用料もお前もか!!」と思いましたが、そこで、

① 下水道の普及状況は？（下水道に繋がっていない世帯は？使用者が多くなければ安くなると聞いていますが・・・）

② 下水道の使用で、青海では畑にまくにも下水道料として払っています（自宅から〇〇m離なければメーターはつけられないと聞いています）糸魚川地域ではつけられる・・・これは不公平ですね。

③ 下水道にかかる一般会計負担を6億から3億にしたいということですが、余剰3億円の使途は？市民税の軽減はなし？他の経費削減方法は？

難しいことは分かりませんが、「これ以上家計を圧迫することだけはやめていただきたい」が率直な意見です。

青海地域 40代女性

「厳しいタイミングで下水道使用料の見直しを打ち出してきましたね。税金の問題が国会で議論されていますが、『税外負担の軽減』も大きな課題です。市長の考え方に対し、議会も厳しい見方をしています」
伊藤文博

⑦ 糸魚川駅北口駅前広場の整備方針について

平成26年の新幹線開通に向けて検討を重ねてきている、駅北口駅前広場の整備方針について、ヒスイ王国館はほぼ現状のままとして、広場整備を主に計画を立てたい意向が明らかにされました。

⑧ 旧サティの売却について

新聞報道のとおり、平成14年8月31日に閉店したサティが土地、建物ともに売りに出されることになりました。糸魚川市としては、成り行きを見守りながら対応したい考えです。
12月26日に開札され、落札者は1月中に明らかにされるようです。かつての中心商業施設がどのように活用されるのか見守っていきたいと思います



⑨ 電気化学工業（株）の増産計画について

電気化学工業（株）青海工場が投資額約250億円の増産計画を糸魚川市に報告した。クロロプレンの増産では、現在の7万トン増を10万トンに増やし平成21年12月頃の稼働を目指し、ヒアルロン酸では、年間1500万本を生産、平成22年8月頃の本格運転を目指す。雇用もプラス30人を見込んで

いるそうで、新潟ポリマーにつづく既存企業の活性化は明るい材料です。

⑩ 原油高騰対策について

国の対策が発表されたが、詳細は明かではなく、特別交付税での対応の方向だというのが、今後、国の方針が明らかになるのに合わせて対応するという。

この後、正式に対策が明らかにされています。条件にあった非課税世帯にシーズン差額約1万円の半額の5千円を補助するというものです。

本町通など、買い物をしたくても駐車場が少なく路上駐車車のクルマも多く通行にも大変不便なので足が遠くなっています。

今の市内では、地元で買い物をし消費するところが少なく、他市へ行って買い物するのが当たり前になっているのが現実です。

このままでは益々糸魚川市が衰弱していくのではと心配になります。

行政・市民が一体となって取り組んでいかなければならない問題の一つだと思います。旧サティも大切な糸魚川市の中核商業施設だったわけですが、再利用による活性化に大きな期待をしています。

青海地域 40代女性

「民間資本による活性化に頼る部分と、行政が政策的に行う部分の両輪が機能しなければなりません。糸魚川駅周辺

整備、商業を含めた産業振興は重要な課題です。糸魚川市は観光振興の起爆剤として『世界ジオパーク』日本最初の登録を目指し、文化振興課が担当していますが、国では国土交通省の観光部門が担当することになるようです。『糸魚川市がジオパークにより何を指すか』により担当する部局が違ってくるのですが…… 伊藤文博

◆文教民生常任委員会から

「糸魚川市環境基本条例」が可決されました。文教民生常任委員会に付託され、審議を行いました。



□閑話……議案審査について

ある議員から「糸魚川市環境基本条例」議案審議の冒頭に「環境問題は市民の関心も高い重要な条例です。委員会審査も行わないで、いきなり議案提出でいいの？」という疑問が出されました。

この日が委員会審査だということもあって、「委員会審査も行わないで」という発言について、反論も出されていきました。

実は、9月議会の本委員会では本条例の骨子について説明があり、今後の予定として、
①パブリックコメントの実施
②条例案12月議会上程
③環境基本計画の策定

の説明がありました。その上での12月議会への条例議案の上程だったわけで、事務方の手続き上は問題がありません。なのに、議員側には満足できないものが残る。なぜか？

これは委員会運営の問題で、事務方の問題ではないのです。

委員会として取るべき方法としては、

方法①

9月議会後、骨子に対して条例案作成までの間に必要な委員会調査を行い、議会としての条例への要求事項を明確にする。

方法②

事前に配布された議案を精査し、不十分な条例だと認めた場合には、修正案を作成・上程する。

方法③

審議時間が不十分な場合には「継続審議」として、次回の議会で審議とし、①②の方法をとる。という3つの方法がありました。

方法①では、委員側に骨子の説明段階で不安があれば、9月から12月の間の閉会中の調査事項に上げておくことが必要です。

進め方は正副委員長に一任することにはなりますが、条例案が出来てから審査したのでは「事前審査」になってしまい、これは認められませんで、必要であれば、その前に事務方との意見交換の場を設けるべきだったわけです。「必要であれば」です。

方法②では、一つには「条例案」は否決、修正もあるという原則です。可決しなければならぬと考えているから、審査が不十分のまま……という考えになってしまいうわけです。事前に議案は配布されているわけですから、精査し問題があれば、修正案を提出する時間は、短くとも与えられています。

どちらの場合であっても、それぞれの委員が必要を感じたら、正副委員長に問題提起をいかなければなりません。正副委員長に任せっぱなしで要求だけでも、それぞれに与えられた十分な日程で審議を尽くすことは出来ないのです。

但し、事務方の立場からすれば、否決・修正案可決などということにならないように、丁寧な議会対応が必要だとは言えます。

この議員はそのところが言いたかったのだと思います。

熱心な審議の結果、条例案は適正と判断され可決されています。

編集後記

新年を迎え皆様には如何お過ごしでしょうか。

編集委員会を開いても、明るい話に乏しく先行きが不安になります。伊藤文博議員の噛み砕いた話や議員としての頑張りを感じながら励まされています。これでは立場が逆ですね。

皆さんもご意見、ご質問等ございましたらお寄せください。議会も傍聴してみませんか。

今年は景気がいいと云われています。合わせて伊藤文博議員の活躍にも期待しています。

本年もよろしくお願いします。

編集委員



1/3 直心館初稽古にて狭い道場なので寿司詰め状態でした(上越市、柏崎市、富山県からも)